

# 県連協 ほいく誌NEWS

2024年9月 No1

岩手県学童保育連絡協議会 ほいく誌部

県連協ほいく誌部の門田です。ほいく誌部では、ほいく誌の魅力を発信するため、不定期ですが『ほいく誌NEWS』を発行します。ほいく誌の普及拡大や、学童保育の理解者を増やす取り組みのため活用してください



## いがいに載ってる!!

みなさん、ほいく誌は読まれていますか？ まず私がおススメするのはやはり、「子どものひろば」。ここには、全国の学童保育に通う子どもたちの絵や作文がたくさん載っています。岩手からも今年4月号～9月号まで10名のお友達の絵や作文が載っていますよ!!

特集では、4月号 花巻の工藤望先生 5月号 大船渡の鎌田美奈子先生 7月号 盛岡の嘉村祐之先生の記事が。投稿・読者の広場でも県内の様々な地域の方の文章が載っています。毎月県内どなたかがほいく誌に登場しています。

まだ、読んでいなかったという方は、そこから読み始めるのもいいかもです。

## 実践ノート



今月の読者のひろばに門田も載ってま～す。その中でも紹介している、7月号から掲載の実践ノート「保護者をつなぎ保護者会をつくる」神奈川の永松先生の文章は必見です。新しい学童保育に保護者会をつくり、そこで働く指導員のまなざしや子どもたちとの日々の関係をより詳しく伝えていくことで保護者との信頼関係を築き、指導員と保護者のみならず保護者同士の関係も築いていく…。

学童保育は、保護者・子ども・指導員が主体的に関わることでよくなっていきます。誰かがやってくれるではなく、積極的にみんなでより良い子どもたちの環境を作っていきましょう!!

## 合宿研にて



8/31・9/1に北上市のブランニュー北上を会場に県連主催の指導員学校と合宿研が行なわれました。

第3分科会では「子どもと遊び」をテーマにほいく誌を活用して理論と実践を行いました。

子どもにとってのあそびとは？子ども達が自発的、自主的に行われ、子どもたちの諸能力が統合化される他に代えがたい必要不可欠なもの。子どもたちにとって遊ぶことが「目的」(生きること)であって、学びや成長は後からついてくるもの。遊びに「きちんとするもの」「目的を持つもの」「正しくあるもの」「成果を得るもの」を大人側が押し付けていないのか？ということを前段で学び、参加者同士で遊び体験をしました。初めは初対面でガチガチ緊張していた参加者も、遊びの楽しさや交流することの楽しさで、「遊びって、みんなを仲良くするね」「つながるって楽しい」「遊びの魅力を子どもたちに伝えていきたい」と充実感がみなぎっていました。